

あきたのまち再発見

ぐるっと文化財マップ

見て楽しい、歩いて楽しい



秋田市教育委員会

このマップは、市民がまち歩きをして作成しました!



まちあるきの注意点

※個人住宅や敷地には立ち入らないでください。



は、歴史の説明などが記されている碑を表します。



は、神社を表します。



は、標柱を表します。



は、保存樹や大きな木を表します。



⑨菅原神社

通称「八橋のおてんつあん」
学問の神として親しまれています

⑩筆塚

私塾などの師匠が使った
筆を納めた筆塚が7基あります

文
八橋小学校



桜並木
[本だけ花が白い
サト桜があります]

中国料理「盛」
中国料理と言え
やっぱり盛(さかり)で

草生津川
春は桜、秋はコス
見物です



④採油機 (ポンピングユニット)

別名「ウマヅラ」「ホースヘッド」
今でも石油(原油)や天然ガスを
採取しています

木製の電柱
ポンピングユニット用の電柱
懐かしい木製です

競馬場
秋田県
八橋競
大正64
アート・

伊夜比古神社
帝石の神社。石油鑑
隆昌と安全の守護神
新潟県の弥彦神社から
分祀されました

帝国石油の石柱
昭和30年代は日本一の
石油(原油)生産地でした

⑰全

新国道

羽州街道の
面影を残す地割り

清食堂
定番の肉鍋定食
山王の台所は昭和の香り

なつかしい八百屋
外見は古いけど中身は新鮮!
野菜・果物の事ならまかせておいて!

山王第二
街区公園

旧羽州街道

福島・山形・秋田・青森を繋ぐ
旧街道跡

随神門の
右大臣と左大臣
大きさに驚きます
椅子にヒョウとトラが
描かれています

三重塔
宝永4年(1707)建立の
県内唯一の三重塔

高陽青柳町

秋田蘭画の陶板
秋田蘭画の代表作を
ここで鑑賞

市役所の鐘
ドイツのパスサウ市から
友好記念に贈られた鐘

秋田市役所

秋田県庁
第二庁舎

秋田県議会棟

秋田県庁

県庁市役所前

秋田市
消防本部

八橋一里塚跡

⑫日吉八幡神社

外町の鎮守社。建造物や
句碑がたくさんあります

八橋公園の池
千秋公園と同じ長岡安平が
作庭したと言われています

裁判所

山王大通り
昭和30年代の官庁移
転道が大通りに変容し

鶏卵塚
二足四足を食さない
習慣の名残り

不動院の庚申塚
すぐ大きな庚申塚

⑬不動院
日本三庚申霊場の一つ
大きな庚申塚が目印

提灯屋高橋
「提灯は生きている」
店主の言葉に感動
竿燈祭りが楽しみ

東京力士若梅与市墓
お相様さんのお墓?

石川理紀ノ助翁碑
周辺は農聖が指導に当たった
秋田県農事試験場跡地です

日吉八幡
神社の杉

吉川五明の墓
奥羽四天王と称された
秋田出身の俳人

寿量院跡
将軍家の位牌を祀る
日光東照宮の分院でした
山門は日吉八幡神社に
移され、随神門となりました

元・桜の開花標準木
桜の開花はここで
確認していました

寿量院跡の石碑

秋田最初の製油所跡

⑪帰命寺

秋田札所第三十三番霊所
毎年1月16日には沢山の
巡礼者が訪れます

バンビヘラ激戦区
ジジヘラもいたらしい

測量基準標
北緯39度43分16秒0210、
東経140度05分40秒1283
秋田市で測地をするときの
基準となります

⑥宝塔寺山門

仁王様がお出迎えてくれます

仁王像
股の間をくぐると、
麻疹や疱瘡が治ると
伝わっています

身代延命地藏尊
お城に勤めた量職人の
身代わりになった伝説があります

全良寺

秋田市保健センター

秋田市老人福祉センター

サンライフ秋田

秋田市保健所

秋田県児
(みらいあ)

秋田県
生涯学習センター

川尻
街区

ドン・キホーテ

山王十字路

なつかしい八百屋
外見は古いけど中身は新鮮!
野菜・果物の事ならまかせておいて!

山王中学校

旭北小学校



松慶寺跡

勘定奉行金易右衛門と
秋田蘭画で知られる
田代雲夢のお墓があります

川尻山ノ下
街区公園

山王第二
街区公園

秋田市
教育委員会

秋田県庁
第二庁舎

山王第一
街区公園

とみや
江戸時代からの老舗
高級万年筆にうっとり

秋田藩御葉園跡

秋田の殿様のために作った
のど薬「龍角散」発祥の地

山王五丁目

八橋人形発祥の地

八橋・川尻の両地区にまたがってあった
「鍋子山」の土を使っていたと伝わります

川元松丘町
街区公園

市立病院の
大きな松
道にせり出しています

市立秋田
市立

高陽青柳町



秋田蘭画の陶板
秋田蘭画の代表作を
ここで鑑賞

市役所の鐘
ドイツのパスサウ市から
友好記念に贈られた鐘

秋田市役所

秋田県議会棟

秋田県庁

秋田県
警察本部

県庁市役所前

橋一里塚跡

②日吉八幡神社

町の鎮守社。建造物や
碑がたくさんあります



八橋公園の池

千秋公園と同じ長岡安平が
作庭したと言われています

ラグビー場

裁判所

山王大通り

昭和30年代の官庁移転に伴い、
農道が大通りに変容しました

箱岡穴稲荷

初代藩主佐竹義宣に、
久保田神明山に城を定めるよう
夢告したという伝説があります

鑄砲所跡

安政6年(1859)、寺鐘を改鑄して
海防用の大砲を作った所
試し撃ちの標的は勝平山

朝寝小路

殿様が通った時に、
まだみんな寝ていた
からその名がついた

山王六丁目

御休処跡

藩主の鷹狩の際などに休息した
地名や通りの由来にもなっています

川尻総社後
街区公園

寿量院跡

将軍家の位牌を祀る
日光東照宮の分院でした
山門は日吉八幡神社に
移され、随神門となりました

日吉八幡
神社の杉

吉川五明の墓

奥羽四天王と称された
秋田出身の俳人

元・桜の開花標準木

桜の開花はここで
確認していました

寿量院跡の石碑

八橋球場

文化会館

文化会館・八橋球場前

秋田放送

秋田最初の製油所跡

八橋陸上競技場

⑪帰命寺

秋田札所第三十三番霊所
毎年1月16日には沢山の
巡礼者が訪れます

バンビヘラ激戦区
ジジヘラもいたらしい

測量基準標

秋田県立体育館

北緯39度43分16秒0210、
東経140度05分40秒1283
秋田市で測地をするときの
基準となります

国体記念碑

昭和36年・平成19年の
2回の記念碑

県立体育館前

秋田県立図書館
秋田県公文書館

秋田県児童会館
(みらいあ)

秋田県
生涯学習センター

川尻中島
街区公園



塩谷仁八翁開拓功労碑

大正時代、能代から私財を投げ打って
川尻北部の開墾に努めました

山王中国町

御休下第一
街区公園

秋田市保健センター

秋田市老人福祉センター

サンライフ秋田

秋田市保健所

ドジャース
食品館

川元開和

⑬一乗院

代々秋田藩藩主の祈願寺として
栄えました



川尻カイハ
街区公園

渡部勤斎碑・墓

秋田藩最後の儒学者の
記念碑
すぐ脇にお墓もあります



立病院

田総合病院

立病院西口

たことか

た場所
ます
後

散當石

「敢當石」と同じ？
めずらしい表記です



⑮総社神社

川尻の総鎮守

川尻地区
コミュニティー
センター

上下水道局

文

川尻小学校



秋田市上下水道局の
モニュメント

「清流」の石碑
この場所は、雄物川から給水した
水の配水場でした

若葉町
街区公園



下々野遺跡

中世の舟運に関係した集落跡と
考えられています

下々野
街区公園

一刀彫のお地藏様

由利本荘の赤田にある
長谷寺の山崗人が
鉋の一刀彫りで作った
6体のうちの1体と伝わります

ジェイ
マルエー



蓮入院

立派なイチヨウのお寺



蓮入院の
いちよう

小夜庵跡

俳人吉川五明の
庵がありました

高清水酒造
工場

旧川尻小学校体育館

今はお酒の貯蔵庫として
使われています

川尻十字路

川村永之助宅跡

明治時代にイタリア・ミラノで
蚕卵紙を販売した川尻組の創設者

藩の米倉跡



倉稲魂神碑の礎石

元々は旧街道と
石蔵(米倉)の角にありました

総社神社前

⑰倉稲魂神碑

こぼれたお米の供養碑



長崎惣之助宅跡

川尻村の肝煎を
務めていました

薪炭置場と御薪役所跡

藩が使ったり、藩士に給与する
炭を貯蓄していた場所

旧北国街道

酒田街道・羽州浜街道などの
別名もあります

秋田刑務所

上下水道局前

鑄銭座跡

元文3年(1738)から
延享2年(1745)の間、
寛永通宝が鑄造されていました

新川橋

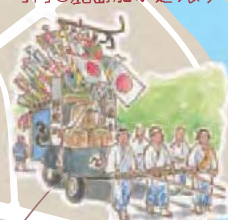


マテックス工場の鳥居

70年間、従業員の安全を
見守っている工場の神社です

⑱鹿島祭り

6月の第3日曜日は、
町内を鹿島船が巡ります



高清水酒造

清水の良さは
お酒造りの絶対条件
資料館もあります

鮭追善供養塚

川漁の供養塔で、
魚組合関係の方々
が建立しました

⑳川口のいちよう

樹齢推定1000年の大いちよう



敢當石

自動販売機の手前にひっそりと

⑲明治天皇 行在所跡

明治天皇巡幸の際に
川尻組へお立ち寄り



出入役所跡

街道から久保田城下へ入る旅人や、
荷物を調べるための役所が
設けられていました

旭川



㉑御舟渡し場跡

橋が架かるまでは、
ここから船で渡っていました



鱒萬本祭塚

川で獲れたサケやマスなどの
供養塚

新川橋

豊町



秋田市教育委員会

このマップは、市民がまち歩きをして作成しました！



市民のみなさんに地域の文化財・文化施設をもっと身近に感じてもらいたいと、文化財イラストマップを作成しました。

マップ作成のためのワークショップでは、20名の市民のみなさんが実際にまちを歩いて情報を集めました。このマップには、ワークショップ参加者が注目したものやコメントなどを盛り込んであります。

このマップを持ってまちを歩き、地域の文化財・文化施設を楽しんでください。

秋田市文化会館

◇秋田市山王七丁目3-1 ☎018-865-1191

秋田市観光案内所（秋田駅構内）……………☎018-832-7941

（財）秋田観光コンベンション協会……………☎018-824-8686

編集・発行：秋田市教育委員会 文化振興室

秋田市山王二丁目1番53号 山王21ビル4階

電話番号 018-866-2246 FAX番号 018-866-2252

協力：半田 和彦（市文化財保護審議会副委員長）

長尾 景義（第1回ワークショップ）

池田 憲和（第2回ワークショップ）

印刷：秋田活版印刷株式会社

イラスト：小西 由紀子

発行日：平成26年3月



昔あった風景



八橋油田（昭和30年代）

明治2年（1869）に千蒲善五郎が採収を始め、昭和30年代には国内最大の油田として、汲み上げ用の櫓が一面に設置されていました。

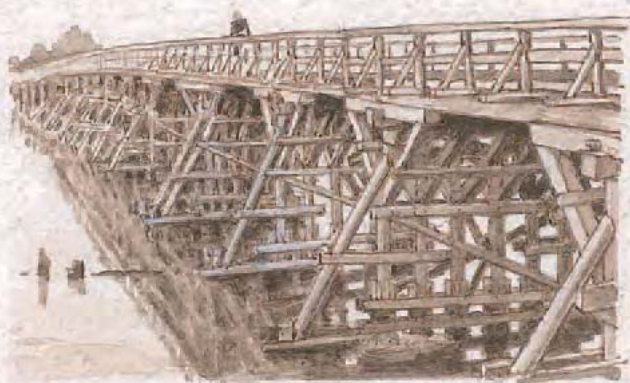


八橋地区の歴史と地名の由来

江戸時代初期に旧羽州街道が整備され、今の日吉八幡神社が遷座した頃から住人が増えました。やがて、街道沿いに茶店が立ち並び、芝居興行が行われるなど、城下の町人が集う行楽地として賑わいました。地名は、八つの橋があったとも、坂上田村麻呂の射った矢が走り落ちたために「矢走」と呼ばれたなどの伝説があり、矢橋・谷橋などとも記されていました。

旧羽州街道について

東北の日本海側（出羽国）を南北に貫く江戸時代の基幹道路で、福島で奥州街道と分かれ、米沢・山形・新庄を経て雄勝峠から秋田領内に入りました。領内では、横手・大曲・久保田城下・土崎・能代を経て大館の矢立峠までの63里4町23間（約248km）があり、さらに弘前・青森へと続きます。領内には、64ヶ所の「一里塚」が設けられ、領界には関所が置かれていました。



新川橋（昭和38年頃）

明治25年（1892）に、新屋から旧久保田城下へ渡る唯一の渡船場であった「芝の渡し」に全長288mもある長い木橋が架けられました。



川尻組（明治10年代）

明治10年（1877）に川村永之助が創設した養蚕組合で、蚕の卵を貼り付けた蚕卵紙に定評があり、イタリアまで輸出されていました。



旧北国街道について

京の都から念珠ヶ関（今の新潟・山形県境）へ至る北国街道（北陸道）の延長部分で、「羽州浜街道」や、進行方向によって「秋田街道」・「酒田街道」とも呼ばれました。経路の多くは日本海沿いを通るため、砂丘や岩場などの難所が多い一方、景勝地に恵まれ、松尾芭蕉の『おくのほそ道』など多くの紀行文が残されています。

川尻地区の歴史と地名の由来

旧雄物川の河口に近く、旧北国街道の渡船場があったために、水上・陸上交通の要衝でした。江戸時代には雄物川を通じて運ばれた米や薪などを収める御蔵や、城下への人の出入りを管理する役所など、藩の施設が置られました。地名は、雄物川の尻（下流）であることが由来と考えられます。現在の山王地区の大部分も川尻地区の一部でした。



秋田刑務所（明治40年代）

明治45年（1912）竣工の旧建物は、煉瓦造りの堅牢な建物でした。使われた煉瓦は、直営工場で地元の粘土を用いて製造されました。



小夜庵（昭和30年代）

「奥羽四天王」に数えられた俳人吉川五明が、天明2年（1782）から俳諧生活を送った庵です。9代藩主佐竹義和もここを訪れました。